

## 山行報告書

受付 No.	346	登山地・ルート	ハヶ岳 石尊稜
目的	冬山技術の向上		
メンバー	L: 大山、巢山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
3・9・日	晴れ	浜松＝美濃戸口P～赤岳鉱泉～下部岩壁取付～上部岩壁取付～石尊峰～
		5:42      8:19      10:25      14:06      15:09 行者小屋～美濃戸口P＝浜松 16:31      18:43
.	.	

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

### 【美濃戸P～赤岳鉱泉】

駐車場はほぼ満車の状態。仮眠の朝、もうそれほど寒くはなかった。林道の雪は正月よりも多かった。天気は良く、阿弥陀岳がきれいに見えた。鉱泉のテント場は賑やかだった。ここでハーネスとアイゼンを装着する。

### 【赤岳鉱泉～下部岩壁取付】

トレースはばっちり。中山峠への急登になるところから谷筋に入ると頭にインプットして行ったため、その手前にあったトレースはスルーする。急登手前のトレースに行くが、すぐ雪崩跡に道をふさがれる。それを避けるトレースを踏んで行くと谷筋に出てトレースに合流する。尾根末端を過ぎ、谷が狭まり雪崩の跡も出てきたので尾根に取り付く。急な草付の細い尾根をたどって下部岩壁の取り付きに着く。足場の不安定なところでロープを出す。出すタイミングを外した。

### 【下部岩壁～石尊峰】

出だしはホールド細かめの岩で、5mくらい支点もなく、カムをセットできるような溝もなく、ランアウトしながら慎重に登る。2ピッチ目は残置スリングに惑わされてまっすぐ進んで苦戦、尾根に出ると左から巻いたトレースに合流する。その先は雪稜で、4ピッチロープを出したが、効率が悪いので回収、上部岩壁の基部まで歩く。上部岩壁はホールドも大きく支点も取れて不安なく登れる。2ピッチで終了、ロープ回収して石尊峰に出る。稜線は風もなく暖かく、大休止とギアの整理をのんびりで行う。富士山がきれいに見えていた。

### 【石尊峰～行者小屋～美濃戸P】

稜線から地蔵尾根を下る。雪が緩んでアイゼンの効きが悪かった。行者にテントは既にほとんどなかった。美濃戸口を過ぎ、林道の途中で日没、ヘッドライトで駐車場に戻る。

### 【温泉】

ハヶ岳美術館のところで右折して、しばらく下ったところ右手にある「もみの湯」、17時以降は500円⇒300円になる。21時半まで営業。(受付は21時まで)

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--